



【巻頭言】

おもてなしの心

—子どもたちが徒歩遍路体験—

園長 野田大燈

「ヘンロ小屋子どもおもてなし處」が落成して1か月半程経過して恒例のウォークラリーが行われました。

毎回ながら職員たちの用意周到な計画と準備の賜物です。

今回は遍路体験として82番札所の根香寺を皮切りに81番白峰寺→80番国分寺→79番天皇寺までを全員が完歩しました。

イノシシに荒らされた道やぬかるみ道もありましたが、当初職員が心配していた落伍者は皆無でした。

逆打ちをしたので多くの遍路さんとすれ違いましたが、園生達はちゃんと挨拶ができていました。

自分自身が遍路体験をすることによって「お接待」の心が理解できるのでは、と考えての行事でしたが大成功でした。

ヘンロ小屋のお接待は、小屋の前にテーブルを出してその上にハーブティの入った保温器と紙コップ、そしてお菓子などを容器に盛って、通られるお遍路さんに「お遍路さん、お疲れ様です。どうぞハーブティとお菓子をどうぞ」と声掛けをします。

子ども達の声掛けで大半の遍路さんが笑顔で立ち寄って下さいます。

先回はオーストラリアの女性が通りかかり、休憩してくれました。

A子ちゃんが練習していた英語で「アイアム ノーイングリッシュ!」と話しかけました。対人関係の得意でない彼女にすれば大きな勇気を要したことだと思います。

するとオーストラリアの女性が日本語で「あなたは英語がちゃんと話せるではないですか。素晴らしい!」と返答してくれました。

その時のA子ちゃんの笑顔は素晴らしく、その女性が「どうぞ記念に一緒に写真を撮らせて下さい」と言われ、おもてなしに来ていた女子3名とVサインでカメラに収まっていた。

最近は頓に外人遍路さんが多いように思え、普段では会う事も会話することもない外国人と接することが出来るのは想定外の収穫です。

調子に乗って来た園生が「園長、横に熟しているカキの実をお遍路さんに差し上げたら…」と枝高くにあるカキの実を指差していました。

とても高い位置にあるので採ることはできませんが、子ども達は差し上げる行為に喜びを感じているのです。街中で生活しては体験できない「布施」の喜びは一生の宝物となるでしょう。

多くの方が遍路小屋建設のためにご寄附を下さいましたが、とても有効に使用されていますことをご報告します。

—了—

サッカー観戦

11 月 1 日、カマタマーレ讃岐 v s ギラヴァンツ北九州の試合を観戦しました。カマタマーレのサポーターと一体となり応援しました。上位の北九州に必死に食らいつく讃岐の姿を見て子ども達の応援にも熱がこもっていました。一生懸命応援して声が枯れた子もいました。

讃岐学園祭り

11 月 1 日（土）讃岐学園祭りに参加してきました。作品展や手作りコーナー・ステージ他等いろいろな催しを楽しんできました。スタンプラリーに挑戦したり、音楽演奏を聴いたりしていました。一番良かったのはやはり、食べ物コーナーでフランクフルト・ポテトフライ・焼きそば・ジュースにかき氷一生懸命味わっていました。

白鳥児童館祭り

11/3 に白鳥児童館祭りに参加してきました。ゲーム、本の読み聞かせ、高校生によるコーラスやブラスバンドの演奏がありました。子ども達は、ストラックアウトやボールを使った遊びをしたり、バザーで自分たちの好きな物をお腹いっぱい食べました。短い時間だったけど楽しい時間を過ごしました。



2

ライオンズクラブ接待

11 月 9 日、ライオンズクラブのご厚意で野外でのバーベキューや太鼓の演奏を楽しみました。バーベキューではイノシシ肉が出て来て、子どもたちは、普段食べた事のないイノシシ肉に大興奮！バーベキューの後の太鼓演奏では迫力ある太鼓に子どもも大人も見入っていました。

子どもの為にボランティアをしてくださった皆様本当にありがとうございました！

ウォークラリー

11 月 14 日（金）に毎年恒例のウォークラリーを行いました。今年のコースは、学園～根香寺～白峰寺～国分寺～天皇寺までの 22 キロを歩きました。今回のウォークラリーは、ウォークラリーを通して健脚を養うと共に、お遍路文化に触れることを目的に行いました。

朝は、気温が低く寒かったですが、スタートをしてからは班の仲間と元気に歩きだしていました。子ども達は、遍路道や各お寺ですれ違うお遍路さんに大きな声で「こんにちわ」と挨拶を行い、交流を深めていました。

途中のチェックポイントではお遍路に関するクイズに答えながら歩きました。正解すると若竹通貨をもらい、貯まった若竹通貨でお菓子袋を購入して、おやつを食べました。途中で足が痛くなった子もいますが、最後まで完歩し、子ども達の表情には達成感が見られました。帰りにはバイキングをたくさん食べてお風呂に入って学園に戻りました。学園に着いたころには疲れてそのまま休む子が多かったです。子ども達にいい経験になったと思います。



若竹学級たより

秋から冬へ

秋が深まり、いよいよ冬がもうそこまで来ている季節になりました。紅葉や銀杏が鮮やかな色合いに染まり、栗やクルミやムカゴなどの秋の実を多く収穫しました。気温もちょうどよく昼間は活動するのに最適でしたが、朝や夜の急な冷え込みに体調を崩す人も何人かいたようです。

和菓子作り

11 月 10 日、菓匠芝山の鈴木さんを講師にお招きし、練り切りと白あんを使った菊と紅葉の和菓子を作りました。一つ一つ細かい作業のなかで、丁寧に、かつ、スピーディにつくる職人の技を見て、驚きと羨望の眼差しでした。特に練り切りに菊や紅葉の模様を描く作業では鈴木さんの鮮やかな技を見て、「すごい」「手元が見えなかった」「絶対おれには作れない」と感動していました。最初から上手に作ることは

できませんが、一個また一個と作ることでどんどん上達し、商品として売れるのではないのかと思うほどのすばらしい作品を作ることができました。



(菊の花)

そして、その場で試食することができ、食べるのがもったいない気持ちを抑え、自分の作った菓子をおいしく頂きました。



(紅葉)

みかん狩り

ふれあい福祉体験学習の一環として 11 月 19 日に大寿苑の利用者の方といっしょにみかん狩りをしました。「たいへんや〜」「腰が痛い」「とれたてのみかんおいしい」「それ手伝うよ」「運ぶよ」「ちいさいみかんがかわいい」と率直な気持ちをことばにしながらかしくお年寄りと交流することができました。

中にはみかんについて詳しい知識をもっている子どもがいて、みかんのおいしい作り方やみかんの成分、さらには人体への効能などを教えてくれました。その話し合いの中で知識を共有し、よりみかんにたいして理解を深めみかん狩りを楽しむことができました。



もう少ししたら・・・

1 年もあっという間で 2014 年もあと少しでおわってしまいます。中学 3 年生は将来の進路に向けて一日一日を大事に過ごしています。中学 2 年生や小学生も先輩が頑張っている姿を見ながら共に勉学に励んでいます。2015 年もきっといい年になるような気がして楽しみで仕方ありません。

太鼓演奏会

11月 行事

11 月 16 日に第 5 回満天公演を聞きに行きました。会場に着くと、会場が大きく沢山のお客さんが入っていて、いつも太鼓を指導してくれている河野さん達がこんな広い場所で公演を行うのかと子ども達は驚いていました。演奏が始まると、子ども達はパンフレットの満天さんのメンバーを探して確認しながら演奏を楽しんでいました。太鼓の演奏は迫力があり、演出にも工夫があり魅力を感じました。踊りながらの演奏は楽しさが伝わってきたり、子ども達もリズムをとってしまうほど音を感じ取れるものでした。演奏後、園生の 1 人が、「よかった。特にあの打ち合う『ぶちあわせ』は、すごかった。」と感想を話していました。見ている人の心を動かす公演は、本当に楽しかったです。



音楽鑑賞

11 月 23 日に瀬戸フィルハーモニー交響団の演奏を聴きに行きました。

演奏が始まると心地よい音色で、子ども達も聞き入っていました。

普段、聞く事の出来ない演奏が聴けて子ども達にもいい経験になりました。

～御寄附ありがとうございました～

□イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 10,900 円
毎月 1 1 日イオン高松店で行われている黄色いレシートキャンペーンに参加しています。

- 1 日 サッカー観戦、讃岐学園祭
- 3 日 白鳥児童館祭り
- 9 日 ライオンズクラブ接待
- 14 日 ウォークラリー
- 16 日 太鼓演奏会
- 23 日 音楽鑑賞
- 24 日 野外炊飯

在籍人数 平成 26 年 11 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	3	3	6
	中学生	5	4	9
	その他	0	0	0
	計	8	7	15
女子	小学生	2	1	3
	中学生	3	1	4
	その他	0	0	0
	計	5	2	7
合計		13	9	22

編集後記

今年も残り 1 か月となりました。11 月は、行事も多くあっという間に終わってしまいました。あと 1 か月、子ども達と一緒に充実した時間を過ごしたいです。

児童指導員 岡田 有梨

第 250 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈